

平成 27 年度自転車関連実施事業

通 勤

施策 1 通勤時の自転車利用への転換促進

過度な自家用車利用への依存や朝夕の渋滞等の解消のため、通勤手段を自家用車から自転車へ転換することを促す取組みを進める

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け				平成 27 年度に実施した事業					
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通勤	通行空間	通勤目的の自転車ネットワーク路線の整備	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線（二川町地内始め）の予備設計を実施した。 【市道】松葉町・南瓦町 1 号線ほか 2 路線において、路面カラー塗装等自転車通行空間確保工事を実施した。(工事延長:約 1.4km)	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。	愛知県(東三河建設事務所道路整備課) 豊橋市(道路建設課)
	駐 輪	交通結節点における駐輪場整備	行政交通事業者	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)を適正に管理・運営する。	指定管理者による路面表示設置、飲料自動販売機設置等により、利用者サービスを向上することができた。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株)
						豊橋市無料自転車置場の維持管理	豊橋市内 6ヶ所の無料自転車置場(城海津跨線橋北、狭間公園南、JR 飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR 飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線)の維持管理を行う。	無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように努めた。	豊橋市(土木管理課) (公社)豊橋市シルバー人材センター
						高師駅自転車置き場拡幅 【資料 1-1】	自転車利用者利用者が増加しつつある現状を鑑み、サイクル&ライドの推進と利便性の向上を図った。	利用者増等の効果測定は困難であるが、現在連日満車が続けている。	豊橋鉄道株
						放置自転車撤去	自社管理駐輪場への放置自転車を撤去することにより新規利用者を獲得し、また撤去自転車に関してはリサイクルと地域安全の向上を目指した。	概要に同じ	豊橋鉄道株
	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施	行政企業	○	○				
	意識啓発	企業向け自転車通勤促進セミナーの開催	行政企業	○	○				
		健康増進のための自転車活用推進	行政企業	○	○	とよはし健康マイレージ事業	健康に関心がない方でも、ポイント集めを楽しみながら健康づくりを実践することで、気軽に取り組み、継続するきっかけづくりとなることを目指している。 個々が自由に設定する取り組み目標として、「自転車で通勤する」ことも提案している。	広く健康に関心を持つ機会として、健診受診や各種イベントへの参加もポイント対象とした。継続して健康づくりに取り組むことで、生活習慣病の予防や医療費削減につながることも期待している。	豊橋市(健康増進課) 豊橋市(健康政策課)
		サイクル&ライドの推進	行政企業交通事業者	○	○	公共交通マップの作成	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を標記した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐輪場の位置を周知することができ、自転車利用の推進が図れた。	豊橋市(都市交通課)

通勤	支援・補助	企業における自転車通勤環境の改善	行政企業	○	電動アシスト自転車購入補助	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進することで、市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的とする。	電動アシスト自転車について620台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制を図った。	豊橋市(温暖化対策推進室) 市内の自転車販売店
					環境マネジメントシステム推進事業 (豊橋市職員対象)	豊橋市エコアクションプラン(第5次)の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)を活用しており、エコ通勤の実施日数を平成26年度比1%以上増加するという目標を掲げている。豊橋市役所職員の研修等を通して、エコ通勤(自転車や公共交通機関などによる通勤)を推進している。	平成26年度比3.0%増加	豊橋市(温暖化対策推進室) 豊橋市役所の職員、嘱託員、再任用職員、臨時職員
					とよはしエコ通勤運動 (豊橋市職員対象)	【通勤手当の加算】通勤距離区分が2km以上15km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算を行った。(平成27年度から、通勤距離区分の拡大及び手当額の引き上げを実施) 【eco2kin報奨制度】エコ通勤実践者(通勤方法が徒歩・公共交通機関・自転車(距離区分2km~15kmの者を除く)・同乗の者)にクオカードを支給 【通勤用自転車購入補助制度】通勤用自転車の購入者に購入費用を補助。	【通勤手当の加算】 ・自転車通勤者の増加 【eco2kin報奨制度支給者数】 ・514人 【通勤用自転車購入補助制度補助実績】 ・普通自転車 95人 ・電動自転車 14人	豊橋市(人事課) 豊橋市職員互助会

通 学

施策2 通学時の自転車利用者の安全確保

通学時の自転車利用時の事故減少のため、自転車利用のルール、マナーに関する教育を引き続き実施

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					平成27年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
通学	通行空間	通学ルートにおける危険箇所の解消	行政警察	○	○	交通安全対策事業の実施	交差点等の危険箇所について対策工事を行った。	対策工事により通学ルートの安全性の向上が図られた。	豊橋市（道路維持課）
	駐輪	交通結節点における駐輪場整備（再掲）	行政交通事業者	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営（再掲）	豊橋市自転車等駐車場（豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口）を適正に管理・運営する。	指定管理者による路面表示設置、飲料自動販売機設置等により、利用者サービスを向上することができた。	豊橋市（土木管理課） 指定管理者（蔦井㈱）
						豊橋市無料自転車置場の維持管理（再掲）	豊橋市内6ヶ所の無料自転車置場（城海津跨線橋北、狭間公園南、JR飯田線下地駅前、豊橋鉄道渥美線柳生橋駅前、JR飯田線船町駅前、立花牟呂用水沿線）の維持管理を行う。	無料駐輪場の自転車等が乱雑にならないように努めた。	豊橋市（土木管理課） （公社）豊橋市シルバー人材センター
						高師駅自転車置き場拡幅（再掲）	自転車利用者利用者が増加しつつある現状を鑑み、サイクル&ライドの推進と利便性の向上を図った。	利用者増等の効果測定は困難であるが、現在連日満車が続けている。	豊橋鉄道㈱
						放置自転車撤去（再掲）	自社管理駐輪場への放置自転車を撤去することにより新規利用者を獲得し、また撤去自転車に関してはリサイクルと地域安全の向上を目指した。	概要に同じ	豊橋鉄道㈱
	安全教育	自転車免許制度等の新たな安全教育手法の導入	行政警察学校	○	○	自転車安全安心モデル校の指定	自転車を利用する機会の多い小学生、中学生及び高校生を対象として、自転車の交通ルール・マナーの周知徹底を通じた交通安全意識の向上や、自転車盗難防止のための防犯意識の向上を目的とした自転車教室の開催などの安全教育を警察と連携し実施した。 （高豊中学校、富士見小学校、愛知県立豊丘高等学校）	市内の小、中学校、高等学校の各1校をモデル校に指定し、年間を通して実施することで、児童生徒の安全に対する意識が継続し、児童生徒が交通安全を主体的に考え、行動していく態度を育成することにつながっている。	豊橋警察署 豊橋市（学校教育課）
						交通安全教室の実施	幼児から高齢者の各年代を対象に交通安全教室を開催した。 幼児87回 6,160人、小学校136回 11,615人、中学校12回 2,756人、高等学校等7回 2,527人、高齢者45回 1,863人、一般92回 3,908人 合計379回 28,829人 高校生自転車免許教室 1回 279人	各年代に応じた交通安全教室を開催したことにより、自転車の安全な乗り方や交通ルール、マナーを身につけることができ、交通事故が減少した。	豊橋警察署 豊橋市（学校教育課） 豊橋市（安全生活課） 愛知県立豊橋工業高等学校 ユタカ自動車学校
						200日間自転車無事故無違反ラリー	豊橋市内の中学校・高校に通学している生徒が本ラリーに参加することで、生徒自身に自転車利用時における法令順守と交通安全意識を醸成させ、自転車利用中の交通事故を防止するとともに、将来の優良ドライバーを育成することを目的とする。 参加高校11校中3校、中学校2校中1校が期間中の無事故無違反を達成した。	市内で発生した自転車利用中の交通事故の内、高校生の負傷者数は平成27年中157人となり、前年より6人減少している。	豊橋警察署 豊橋市（安全生活課） 豊橋市教育委員会 交通安全協会豊橋支部
	意識啓発	自転車利用のメリットの教育	行政学校	○	○				
		サイクル&ライドの推進（再掲）	行政企業交通事業者	○	○	公共交通マップの作成（再掲）	公共交通の利用促進に向けた取り組みの一環として、豊橋市内の公共交通に関する情報を記載したマップを作成し、その中にサイクル&ライドが可能な駐輪場を標記した。	市民にサイクル&ライドが可能な駐輪場の位置を周知することができ、自転車利用の推進が図れた。	豊橋市（都市交通課）

買物

施策3 買物時の自転車利用環境の向上
誰もが安心して買物ができるようにするため、通行や駐輪のための環境を整備

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					平成27年度に実施した事業					
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体	
				前期	後期					
買物	通行空間	買物目的の自転車通行空間の整備	行政警察		○	自転車通行空間の整備(再掲)	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線(二川町地内始め)の予備設計を実施した。 【市道】松葉町・南瓦町1号線ほか2路線において、路面カラー塗装等自転車通行空間確保工事を実施した。(工事延長:約1.4km)	自転車と歩行者、自転車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。	愛知県(東三河建設事務所道路整備課) 豊橋市(道路建設課)	
	駐輪	まちなかにおける駐輪環境の向上	行政企業民間団体	○	○	豊橋市自転車等駐車場の管理・運営(再掲)	豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)を適正に管理・運営する。	指定管理者による発券機の導入等により、利用者サービスを向上することができた。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(蔦井株)	
							まちなか駐輪環境向上検討会議の開催	まちなかの駐輪環境向上のため、ワーキンググループによる具体的な取組等の検討を行った。	平成27年度はワーキングを2回開催し、まちなかの駐輪環境向上のための基本方針及び必要となる事業の抽出を行った。	豊橋市(まちなか活性課) 豊橋市(土木管理課) 豊橋市(都市計画課) 豊橋市(都市交通課)
	安全教育	自転車の貸付及び補助と併せた安全教育実施	行政	○	○	自転車安全利用の教育	三人乗り自転車を貸出する際に、交通安全利用の講習会を受講してもらい、交通安全を呼び掛けた。	平成27年度は101名が受講し、自転車安全利用の啓発を図ることができた。	豊橋市(安全生活課) 豊橋市(保育課)	
	支援・補助	自転車普及のための貸付及び購入補助	行政	○	○	電動アシスト自転車購入補助(再掲)	電動アシスト自転車の購入に対して補助金を交付し、自動車利用から自転車利用への切り替えを促進することで、市民意識の向上及び温室効果ガスの排出抑制を図り、地球温暖化対策の推進に寄与することを目的とする。	電動アシスト自転車について620台の購入補助を実施し、近距離移動などに活用してもらうことで市民意識の向上、温室効果ガスの排出抑制を図った。	豊橋市(温暖化対策推進室) 市内の自転車販売店	
						三人乗り自転車貸出事業	子育て家庭の支援の一環として、満1歳以上4歳未満及び満2歳以上6歳未満の子を2人以上養育しており、豊橋市内に居住している家庭を対象に、三人乗り自転車の貸出しを行った。 電動アシスト付自転車85台 利用料金1,000円/月	三人乗り自転車の貸出を希望する保護者に対して、延べ101台を貸し出し、子育て支援及び三人乗り自転車の普及啓発をすることができた。	豊橋市(保育課) (公社)シルバー人材センター	

共通

その他の実施施策

複数の目的に共通する取り組みや、自転車のイメージアップ及び日常の自転車利用に繋げるための取り組み等

豊橋市自転車活用推進計画における位置付け					平成27年度に実施した事業				
目的	事業の区分	実施事業	関係団体	実施時期		事業名称	概要	効果	事業実施関係団体
				前期	後期				
共通	通行空間	自転車ネットワークの構築	行政警察	○	○	自転車通行空間の整備（再掲）	道路空間の再配分などにより、自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。 【県道】主要地方道豊橋湖西線（二川町地内始め）の予備設計を実施した。 【市道】松葉町・南瓦町1号線ほか2路線において、路面カラー塗装等自転車通行空間確保工事を実施した。（工事延長：約1.4km）	自転車と歩行者、自動車が共存できる自転車通行空間を整備し、そのネットワーク化を進めることで、安全かつ快適に移動できる環境を整え、市民の自転車利用を促進する。	愛知県（東三河建設事務所道路整備課） 豊橋市（道路建設課）
	利用環境	自転車利用環境向上のためのスポットづくり	行政 企業 民間団体		○				
	安全教育	対象・課題に応じた安全教育の実施	行政警察 学校 企業 民間団体	○	○	交通児童館事業	自転車乗り方教室などの行事を開催するとともに、遊びを取り入れながら交通ルールを学ぶ教室を開催し、児童の健全育成を図った。	利用者を中心に交通ルールを学ぶ機会を提供し、児童の健全育成を推進できた。	豊橋市（こども未来館）
						交通安全教室の実施（再掲）	幼児から高齢者の各年代を対象に交通安全教室を開催した。 幼児87回 6,160人、小学校136回 11,615人、中学校12回 2,756人、高等学校等7回 2,527人、高齢者45回 1,863人、一般92回 3,908人 合計379回 28,829人 高校生自転車免許教室 1回 279人	各年代に応じた交通安全教室を開催したことにより、交通ルールやマナーを身につけることができ、交通事故が減少した。	豊橋警察署 豊橋市（学校教育課） 豊橋市（安全生活課） 愛知県立豊橋工業高等学校 ユタカ自動車学校
						放置自転車対策	「豊橋市自転車等の放置の防止に関する条例」に基づき、道路上の自転車等の放置の防止に関し必要な施策に取り組む。生徒・学生に対して、学校を通じ広報やパンフレットの配布を行う。	撤去・啓発班の増員体制を整え、土日平日に関わらず安定した活動が行えるようになった。	豊橋市（土木管理課） 指定管理者（蔦井株） 放置自転車リサイクル事業取扱者
						自転車指導啓発重点地区・路線における指導取締活動の推進	2地区、1路線（地区：豊橋駅前地区、豊橋公園周辺地区、路線：県道豊橋環状線（東田坂上～上立会橋南））を指定し、交通違反者に対する指導取締活動を推進して、自転車事故の防止を図る。 平成27年は1,700件の「指導警告票」による指導警告を実施した。	豊橋駅前地区では、平成26年中は12件の自転車事故が発生したが、平成27年中は前年より5件（約42%）の大幅減少となり、7件であった。他地区・路線は横ばいであった。	豊橋警察署
						自転車安全・快適利用啓発バステッカー事業【資料1-2】	自転車の安全性・快適性の向上を図るため、豊鉄バス株式会社の協力を得て、市内を走るバス車両の後方部にステッカーを貼付し、自転車は車道の左側通行であること、また、バス停車中は無理な追越しをしないことを周知・啓発した。	豊橋市内で運行する路線バスの内、65台にステッカーを設置することができ、自転車の安全性・快適性の向上だけでなく、路線バス運行上の安全確保にもつながった。	豊橋市（都市交通課） 豊鉄バス株
	意識啓発	自転車保険のPR	行政警察 学校	○	○	広報とよはしへの自転車特集号の掲載（2月15日号）	自転車利用のメリットや、計画に基づき実施している取り組み（自転車通行空間の整備）、自転車の交通ルールその他、ヘルメット着用や自転車保険加入について紹介をした。	自転車通行空間の整備時期に合わせた広報を行うことで、効果的な周知が図られた。	豊橋市（都市交通課）

意識啓発	利用目的に応じた メリットの周知	行政 学校 企業 民間団体	○	○	カーフリーデー・モビリティウィーク	都市交通を切り口とした都市環境の改善や賑わいのあるまちづくりを目的とし、自転車や公共交通、徒歩を用いたイベントを行うことによって、「かしこい車の使い方」を市民と行政と一緒に考える取組を行った。	イベントを通じて「かしこい車の使い方」を周知することができた。 イベントでは自転車シミュレータを用いた安全講習に加え、今回新たに自転車の無料診断を行った。 カーフリーデー参加者 1,800 人 自転車シミュレータ体験者 250 人 自転車無料診断 50 人	豊橋市（都市交通課） 豊橋市（安全生活課） 愛知県 愛知県自転車モーター商協同組合豊橋支部 豊橋鉄道(株) 豊鉄バス(株) 東海交通(株) キングタクシー(株) 愛知県立豊橋工業高等学校
					広報とよはしへの自転車特集号の掲載（2月15日号）（再掲）	自転車利用のメリットや、計画に基づき実施している取組み（自転車通行空間の整備）、自転車の交通ルールの他、ヘルメット着用や自転車保険加入について紹介をした。	自転車通行空間の整備時期に合わせた広報を行うことで、効果的な周知が図られた。	豊橋市（都市交通課）
	自転車マップ等の作成	行政 学校 企業 民間団体		○				
レジャー	サイクリング・ポタリングコース等の設定	行政 民間団体		○	サイクルトレイン	特定日を除いた土休日に限り、1台あたり100円の料金をで渥美線車内の指定エリアに自転車をそのまま持ち込み可能。	平成27年度実績3,537台（平成26年度3,299台前年比107.2%）と一定の需要があった。 乗車ベスト3（三河田原820台、新豊橋756台、大清水453台） 降車ベスト3（新豊橋722台、三河田原659台、大清水473台）	豊橋鉄道(株)
	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	市民スポーツ祭'2015【自転車】及び平成27年度豊橋自転車競技大会（同時開催）	市民スポーツ祭においては、市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアルを行う。小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらう。 また、豊橋自転車競技大会においては、昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図っている。競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞が贈られている。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋自転車競技協会 豊橋市 豊橋市教育委員会 豊橋市体育協会 JKA中日本地区本部 日本競輪選手会愛知支部
					第9回とよはしとよねサイクルマラソン	豊橋～豊根村間のサイクリング大会。豊橋⇄豊根の往復約160kmのコース及び豊橋⇄豊根、豊根⇄豊橋の片道約80kmのコースの3コースあり、制限時間は往復9時間、片道6時間で完走を目指すもの。競走ではなく交通ルールを守ってのツーリングを楽しみ、ロードでの安全な走行を目的としている。	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	とよはしとよねサイクルマラソン実行委員会 豊根村 新豊根ダム水源地域ビジョン推進協議会 大入の里 豊橋市体育協会

共通	レジャー	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	<p>第 12 回豊橋万場クリテリウムロードレース大会</p> <p>愛知県国体自転車競技大会の 10 周年を記念し第 1 回が企画され 12 年目を迎えた。万場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催。クリテリウムとは一般交通から遮断された周回コースである。種目は 4 時間エンデューロと個人ロードレース、チームタイムトライアルがありそれぞれに部門が分かれている。未就学児から実業団選手まで幅広い年代が自転車競技を楽しめる大会である。</p>	<p>アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。</p>	<p>豊橋自転車競技協会 豊橋市 豊橋市教育委員会 豊橋市体育協会 独立行政法人水資源機構</p>
						<p>第 33 回とよはし・チーム・ピスト</p> <p>高校・大学の自転車競技部を除く町のレーシングチームを対象に、スプリント、ケイリン、速度競走、エリミネーション等のトラック競技を行いチームでの総合得点を競い合う。アマチュアのトラック競技の大会が少なく遠方からの参加者も多い。</p>	<p>アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。</p>	<p>豊橋自転車競技協会 豊橋市体育協会 愛知県自転車競技連盟 日本競輪選手会愛知支部</p>
						<p>第三回ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル のんほいキッズバイクフェスの開催</p> <p>豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)を会場に、2 歳から 5 歳及び 5 歳以上(オープン)によるランバイクレース(出場車両はペダルの無い足を蹴って進むタイプのランバイク)を開催。年代別とオープンに分け、まず予選を 2 回出走し、上位の者が 2 回戦、準決勝そして決勝に進み、1~3 位を競う。幼児のうちから自転車に慣れ親しむ機会の提供とのんほいパークについて来場者数の増加と広域的に知名度アップを図る。</p>	<p>天気予報が悪い中 162 名の選手が参加、家族を含めると 625 名が来場した。その内訳は、総家族数では 146 家族、そのうち初ののんほいパークが 37 家族、初豊橋が 14 家族であった。遠方からの参加は兵庫県川西市や大阪市、埼玉県川越市や東京都西多摩郡、調布市からもみえた。豊橋市内の参加者は約 20%であった。</p>	<p>ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会 豊橋市(総合動植物公園部) 豊橋観光コンベンション協会 豊橋商工会議所青年部 豊橋自転車競技協会(株)ダイナコ(選手のエントリーを含む競技運営)</p>
						<p>平成 27 年度愛知県高等学校新人体育大会自転車競技</p> <p>場 所：愛知県豊川浄化センター内構内道路 概 要：男子(約 70Km)、女子(約 60Km)で個人競技を競う。 男子は 1 位(9 点)から 8 位(1 点)に得点を与え、学校対抗の順位を競う。 大会参加校：桜丘高等学校始め県下 7 校 参 加 者：約 40 名</p>	<p>「県下高等学校生徒にスポーツ実践の機会を与え、健康の増進と強靱な意志を図る。」という大会の趣旨に合った効果が得られたものと考える。</p>	<p>愛知県高等学校体育連盟 自転車専門部 愛知県東三河広域観光協議会(事務局：豊橋観光コンベンション協会)</p>
						<p>「環境フェスタ」での自転車の提供</p> <p>大きなごみとして排出された自転車について、職員による整備の上、抽選による無償提供を行った。</p>	<p>市民に対するリサイクル意識の啓発。</p>	<p>豊橋市(業務課) 530 運動環境協議会</p>

共通	レジャー	自転車イベントの開催	行政 民間団体	○	○	競輪開催事業	自転車競技法に基づき、普通競輪 11 開催 42 日、記念競輪 1 開催 4 日、国際自転車トラック競技支援競輪開催 4 日の年間 13 開催 50 日を行い、収益を得る。	平成 27 年度は、毎年開催している記念競輪に加え、国際自転車トラック競技大会に出場する選手の育成・強化及びその環境等の整備を支援するために新設された『国際自転車トラック競技支援競輪』の第 1 回目の開催を実施し、売上は前年度比で約 19% の増加を達成するとともに、自転車振興に寄与することが出来た。	豊橋市（競輪事務所） J K A 日本競輪選手会 全国競輪施行者協議会
						バンクにおい Day	豊橋競輪場において、バンク走行体験、キックバイク体験、面白自転車体験、縁日、サイクルタイムトライアル、自転車なんでも相談コーナー・ローラーフォームチェック、地元競輪選手パフォーマンス、補助輪卒業教室等を行った。	各イベントに合計 383 名の参加があり、自転車に親しむきっかけとすることができた。	豊橋市（競輪事務所） 日本トーター(株) 日本競輪選手会愛知支部 J K A